教育委員会定例会会議録

１　日　　時　令和元年１０月１６日(水) 午後２時３０分～午後４時４０分

２　場　　所　伊東市役所高層棟５階中会議室

３　出 席 者　１番　髙橋　雄幸君　　２番　井上　靖史君

　　３番　山本　香織君　　４番　村上　惠宏君

４　参　　与　教育部長　冨士　一成　　次長兼教育総務課長　岸　弘美

　　教育指導課長　操上　俊樹　　幼児教育課長　稲葉　祐人

　　生涯学習課長　杉山　宏生

５　事 務 局　教育総務課課長補佐　太田　靖久　　主事　杉山　詩乃

６　会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会１０月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

（事務局から出欠報告及び資料確認）

教育長：それでは議事に入る。始めに８月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

（意見なし）

教育長：８月定例会会議録を原案どおり承認してよろしいか。

（委員全員から賛成の声）

教育長：承認が得られたので、８月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は井上委員にお願いする。

教育長：続いて、教育長報告を行う。１０月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

９月１９日　サマーレビュー副市長ヒアリング

２０日　中学校体育祭訪問、城ヶ崎分校美術部へ感謝状贈呈式

２１日　ボッチャ競技親子大会

２２日　JC 旗争奪少年サッカー大会、
書道藝術専門学校千字文大会表彰式
２３日　崔如琢美術館「こども絵画コンクール」表彰式
２４日　市議会議員当選証書付与式、サマーレビュー副市長ヒアリング、
人事評価校長面談
２５日　政策会議、土地利用対策委員会、
サマーレビュー副市長ヒアリング、
学校統廃合基本方針の地域説明会（川奈）
２６日　人事評価校長面談、サマーレビュー副市長ヒアリング、
タウンミーティング（十足）
２７日　校長会、少年少女合唱団 CD 寄贈
２８日　市教育機関職員採用試験、伊東市芸術祭、
伊東商工会議所創立７０周年記念式典
１０月　１日　静岡教職員組合東豆支部教育懇談会、
市職員条件付き採用期間終了訓示、
学校統廃合基本方針の地域説明会（小室・吉田）
２日　人事評価教頭面談、幼稚園運動会訪問（南、富士見分園、吉田）
３日　人事評価教頭面談、市教育機関職員試験委員会、
タウンミーティング（玖須美）
４日　静岡県学校給食会理事長来庁、
幼稚園運動会総練習訪問（鎌田）、
学校統廃合基本方針の地域説明会（富士見）
５日　野間自由幼稚園運動会訪問
６日　第５４回杢太郎祭、貢声会秋の民謡祭り大会、貢声会懇談会
７日　サマーレビュー市長ヒアリング

８日　サマーレビュー市長ヒアリング、市スポーツ祭総合開会式

９日　市議会臨時会、任命式（監査委員・公平委員）、

福島県本宮市総務部長等来庁（子育て意見交換）、

県教育委員会理事等来庁

１０日　静東地区教育長会、教頭会、市町対抗駅伝競走大会実行委員会

１１日　災害対策本部設置、幼稚園長会

１２日　災害対策本部対応

１３日　災害対策本部対応、教育部所管施設の確認対応

１６日　教育委員会定例会、タウンミーティング（八幡野）

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

委員：タウンミーティングが開催されているが、教育委員会としては誰が出席しているのか。

教育長：教育委員会としては、教育長が代表して出席している。主催は市長部局であり、基本的には市長が市民の意見を直接聴くことを目的とした場である。

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いする。

（報告なし）

教育長：それでは、議題に入る。始めに議決事項、教議第１５号「令和２年度重点化事業及び新規事業について」を議題とする。

（**各課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：川奈小学校・南小学校統合準備事業に関連して、通学に関しての方向性として、バスを購入することができれば通学だけではなく遠足や社会見学等の学校行事にも利用できる。うまく活用することができるのではないか。

教育長：マイクロバスを１台購入するとなるといくらくらいかかるのか。

岸次長兼教育総務課長：２９人乗りのマイクロバスを購入すると６００万円く

らいだが、それ以外に維持費もかかり、車両だけではなく運転手の確保も必要になる。路線バスの通学時間帯の増便、大型タクシーの利用やバスのリース等も含め、様々な観点から比較をしている状況である。

委員：緊急時の給食対応に伴う非常食の常備体制の導入について、何年か前にも非常食を用意するという話があったかと思うが、それとは別で用意するのか。また、１食分で足りるのか。津波等で子どもたちをしばらくの間帰せない状況もあり得るのではないか。

岸次長兼教育総務課長：現在もお米のストックはある。ライフラインが使えなくなってしまった時に、水も熱源も不要でアレルギーにも対応するものを考えると、予算的にもまず１食分からとなる。このような取組みは初めての試みである。子どもたちを帰せない状況が長引いた場合も、必ず数日中に災害救助が入ると考えられ、アルファ米や乾パン等 PTA や危機対策課にて学校に備蓄しているものもあるので、しばらくの間は足りると考えている。

委員：特別支援教育支援事業について、特別支援学級ではなく通常学級の支援員が足りないとのことだが、少子化にて全体的な児童生徒数が減少している中、支援員を増員しなくてはならない要因は何か。以前は学校で対処できていたのか。

操上教育指導課長：現在１０．７％の子どもに支援が必要とされている。昔はそこまで割合がなかったが、現在はクラスに３人程度いる割合である。専門医でも判定が難しく、生まれ持った障がいではなく家庭環境や家庭教育が大きく影響していることもあり得るのではないか。落ち着かなかったり、奇声を発したり、思いどおりにならないと暴れたりする子が普通学級にもおり、基本的に１対１での対応が必要となるため、授業をスムーズに行うためには支援員の増員は必要である。以前は普通学級における支援が必要な子どもの人数が少なかったため対応できていたと思う。

委員：スクールロイヤー配置事業について、顧問弁護士ではなく市で専門に雇うのか。それだけ件数が多いのか。

操上教育指導課長：昨年度で見ると、スクールロイヤーが居れば相談できたであろう案件が１学期で１０件ほど、１年で４０件ほどあった。判例も熟知しているので最善の対処や速やかな対応ができたのではないかと思われる。

教育長：基本的には学校にて担任を中心にしっかりと対応しているが、解決が難しいケースもある中で対策を考えていかなければいけない。近年では全国的に見ると裁判になるようなケースもあり、活用していく必要がある。

委員：認定こども園施設整備事業について、職員はどうするのか。

稲葉幼児教育課長：職員の確保が非常に難しい状況となっているが、事業者が都市部からも人材を集め、３名職員を増やして対応していくと聞いている。

委員：幼児教育・保育の無償化によって、保育園の希望者が増えると思われる中、保育士不足が深刻ではないか。処遇改善をしなければ人材確保は難しいのではないか。

稲葉幼児教育課長：国が処遇改善策として補助金を交付しており、基本的には職員の給料に充てられている。人材不足なため人材の取り合いであり、市としても対応を考えていかなければいけないと感じる。

委員：放課後児童健全育成委託事業について、具体的に取り組んでいる内容は何か。

稲葉幼児教育課長：各クラブでどういった運営をしていくかによるが、支援が必要な子どもへの対応のために、作業療法士による巡回相談を実施したり、職員の処遇改善を図ったりしていきたい。

委員：保護者が運営するのが大変だとか、施設が狭くて断らなくてはならない子がいる、という話をよく聞く。入りたい子が入れる状況を作ってほしい。

稲葉幼児教育課長：運営方法について一時期は民間事業者への委託にしたいと

いう話もあったが、今は全クラブから自分たちで運営していくという話を受けている。スペースについては、学校の一部を借りており学校との兼ね合いがあるので、学校とも協議し検討していきたい。

教育長：この件について確認する。教議第１５号「令和２年度重点化事業及び新規事業について」は原案どおり承認してよろしいか。

（委員全員から賛成の声）

教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第１５号については、原案どおり決定した。

教育長：次に報告事項に入る。始めに、教報第１２号「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する規則について」を議題とする。

（**稲葉幼児教育課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

教育長：伊東市は国に先駆けて昨年度から５歳児の無償化を行っていた。また、令和元年１０月からの無償化に伴い、伊東市では５歳児の給食費を含めた無償化を行っている。これは県内では伊東市と小山町のみの独自の施策である。

委員：伊東市と小山町のみということは初めて知った。市民の方々も知らない部分が多くあると思うので、他市町と比べて良い部分をもっと PR できたら良いのではないか。

教育長：次に、教報第１３号「図書館・文化ホール建設に向けた検討会中間報告書について」を議題とする。

（**杉山生涯学習課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：検討会が選定した場所は、伊東駅・南伊東駅・伊東市役所からの中間地点ではあるが、どこからも遠い。教育的に学生の利用を考えると学校からも遠

く感じる。場所に関しては少し残念に思う。

杉山生涯学習課長：駅周辺だとすぐに実現することが難しく、サテライト的に伊東駅前にスペースを設けることも可能かと考えている。

教育長：子どもたちが使いやすく集える図書館になったら有難いと思う。小さい子どもから自由に本が読めたり勉強ができたり良い環境ができたら良い。

教育長：以上で報告事項を終了する。

教育長：次に、その他「各課報告」を議題とする。

冨士教育部長：台風１９号への対応について報告する。１０月１０日中に、１１日１４時に災害対策本部を立ち上げることを決定し、教育部内でも１０日中に対策会議を行い、各施設に風雨への対応を指示すると共に被害対応シミュレーションを行った。１１日１４時に災害対策本部が設置され各部の対応及び避難所等の情報共有が図られた。その後１２日には数時間おきに災害対策会議が開催され、市内の被害状況等の情報共有が図られた。台風が過ぎた１３日１２時３０分に避難所が閉鎖となり、同日１６時に各部からの最終的な被害状況の報告により大きな被害には至らなかったことが確認され、災害対策本部は解散となった。避難所については、当初１１か所開設したが、市役所と宇佐美コミュニティセンターにて避難者が多くキャパシティを超えてしまったことから、大原武道場及び宇佐美小学校体育館を追加で開設し、１３か所にて対応した。教育部では、災害対策本部が設置されて以降は、課長４名と課長補佐１名の５名体制で対応し、その後大原武道場及び宇佐美小学校体育館を避難所として開放することとなったため、生涯学習課職員３名を動員し対応した。また、１３日８時３０分から１３時３０分まで、教育委員会４課の職員において４班１９名体制で教育委員会所管施設の被害状況確認を行った。保育園については、１２日は市内全園にて休園とし、１３日は安全が確認された園から開園とした。被害状況調査の結果は、事前準備の効果もあり１５号と比較しても被害が少な

かった。昨日、部内で台風対応の反省点等について会議を行い、避難所開設時の学校の鍵の受渡しについて検討が必要であるため、今後学校とも検討・協議することとした。

岸次長兼教育総務課長：教育総務課から令和元年度実施伊東市教育機関職員採用試験について報告する。９月２８日に第３次試験を実施し、内定者を決定した。１０月２５日頃を目安に身体検査等を実施してもらい最終合格者を決定する。

操上教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。問題行動については、小学校１年生男子の報告が多い。特別な支援を要する児童が起こしているが、しつけや我慢の問題も関係していると思われる事案がある。中学校では、同じ生徒が繰り返し起こしている。いじめについては、認知後指導し一度は解消したが、しばらくして同じ相手からいじめが再発してしまった事案がある。解消後も学校では経過観察を行い、毎月教育委員会に報告をしてもらっているが、いじめはなかなか難しい問題である。不登校については、中学校では減少している。周りがどれだけ言っても気持ちの中にパワーが生まれない限り不登校から抜け出すことは無理だと言われているので、パワーが生まれる支援をしていきたい。また、問題行動において、喫煙の件数がほとんどない。簡単に買えなくなったことで激減した。やはり環境は大事だと感じる。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から令和２年度の幼稚園の新入園児見込数について報告する。現在のところ合計で３４２名となっており、今年度と比べると６１名少ない状況となっている。園児数が少なく運営ができない園はなく、池幼稚園のみ４歳児と５歳児を複式とする予定である。保育園と重複して申し込んでいる方がいるため、正式な園児数の決定は令和２年２月の予定である。民間幼稚園の申込み数は本年度並みのようだ。また、幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園から保育園へ流れるのではないかと言われていたが、現在のとこ

ろそれほど多くは見られない。

杉山生涯学習課長：生涯学習課から２点報告を行う。１点目は、台風１９号に伴う事業及び施設の対応について報告する。１０月１２日及び１３日に芸術祭の音楽祭が予定されていたが中止とした。生涯学習課所管施設は１０日から基本的に休館とし、コミュニティセンターや生涯学習センターにおいては１１日から１３日にかけて避難所を開設した。２点目は、今後の事業について報告する。１１月１０日にわたしの主張発表会を開催する。１３時開会１５時終了予定である。生徒１０名が発表を行い、司会は対島中学校の生徒２名が行う。また、伊豆半島ジオパーク推進協議会専任研究員の新名阿津子氏が「伝えるチカラ　～見るコト・聞くコト・話すコト～」を演題に講演を行う。

委員：わたしの主張発表会は子どもたちの色々な意見を聞くことができ、とても良い機会である。観客にもう少し生徒が入り応援ができると良いのではないか。オーディエンス投票も盛り上がると思う。もう少し観客の動員ができれば良いと感じる。

杉山生涯学習課長：１回聴けば素晴らしいと感じてもらえると思う。多くの方に来てもらえるよう広報していきたい。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

委員：台風１９号はあまり被害が出なかったようなので良かった。台風１５号の時は教育委員会所管施設で１００件近くの被害があった中で、未だに貸出しできていない体育館があるかと思う。このまま使えなくなってしまうのではないかという心配の声もあるが、工事の完成状況はどうか。

岸次長兼教育総務課長：川奈小学校の体育館にて、外壁が一部剥がれたため貸出しを停止している。修繕工事は業者に発注済みであり、先週には足場を組み修繕工事に取り掛かっている予定だったが、台風１９号が直撃することが予想され足場を組むことが危険と判断したため、修繕工事を延期してもらった。今

後、業者と再度日程調整をして早急に修繕工事を実施していく予定である。

教育長：今回の台風１９号においては、教育委員会内４課で協力して対応できたので良かった。今後も災害時には、担当課のみで対応することは難しいので、４課がまとまって協力していけたら良いと思う。

教育長：今後の日程について確認する。

　１１月の定例会については、１１月２０日（水）午後２時３０分から

　１２月の定例会については、１２月１８日（水）午後２時３０分からを予定している。

教育長：以上で伊東市教育委員会１０月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長　　髙橋　雄幸

委　員　　井上　靖史

書　記　　杉山　詩乃